



この冬一番の寒波の中での「終業式」でした。

昨日は、一日中小雪が舞い、寒い一日でした。それでも子供たちは元気で中休みなど、運動場で思い切り体を動かしてはしゃいでいました。午前中は、どの学年も「お楽しみ会」を開き、子供たちの楽しい歓声や笑い声が校舎に響いていました。また、5校時は、全校児童で大掃除（右写真）をしました。1年間お世話になった教室や廊下、階段、特別教室や体育館など割り当てられた場所を少人数ながら一生懸命きれいにしていました。おかげで、きれいな潮見小学校で新年を迎えられそうです。



雪の中の大掃除頑張りました！

今日は、大雪警報が心配される中での終業式でした。体育館の冷え込みを考慮し、式を急遽リモートに切り替えました。式の中で、私からは2学期の活動を100枚を超える写真と音楽で振り返り、コロナが落ち着きみんなで力を合わせたからこそ、たくさんの思い出ができたことを伝えました。あわせて、1年生と6年生の代表の児童（下記紹介）も、しっかりと2学期の振り返りと3学期に向けて発表をしてくれました。その後、各学級では2学期のあゆみを基に、担任から子供たち一人ひとりに、2学期の頑張りや3学期に向けての「言葉」が伝えられていました。悪天候で心配された終業式となりましたが、2学期、そして令和5年度最終日を、保護者の皆様のご協力により無事終えることができました。心より感謝申し上げます。どうぞ、よいお年をお迎えください。

二学きのふいかえり！ 1年 ○○ ○○○

わたしは、二学きにがんばったことが三つあります。
一つめは、さんすうのけいさんです。れんしゅうをするたびに、もんだいがたくさん とけるようになりました。けいさんが大すきになりました。
二つめは、きゅうしょくです。まえより はやくたべられるようになりました。つくってくれた人に ありがとうという気持ちでいたら へらすことも なくなりました。
三つめは、てつぼうです。たいいくのじかんに いろいろなてつぼうのわざをしりました。ちきゅうまわりが三かいぐらい つづけてできるようになりました。うれしかったです。

たのしかったことは、みんなで でんしゃののってハウステンボスのちかくにいったことです。どんぐりをたくさんひろって、あきまつりのおもちにつかいました。



三学きは、けいさんが二学きよりも、もっとはやくできるように しゅうちゅうしてれんしゅうしたいです。

大切にしたい言葉 6年 ○○ ○○

私が三学期に大切にしたい言葉は「一度でもあきらめてしまうと、それがクセになる。絶対にあきらめるな」という言葉です。

これは、アメリカのバスケットボール選手である、マイケル・ジョーダンさんの言葉です。

私がこの言葉を大切にしたいと考えた理由は、二学期までの私は苦手なことやできないことを、すぐにあきらめてしまっていたからです。体育の鉄棒の学習では、何度やっても逆上がりができなかったので、練習をやめてしまいました。算数の授業でも、問題が分からず、すぐにあきらめて解くのをやめてしまいました。

このようにふり返ってみると、私はすぐに「できない」と言ってあきらめてしまうクセがついていることが分かりました。

だから三学期は、このすぐにあきらめるクセを直したいと思います。できなくてもできるようになるまで練習を続けたり、分からない問題も、先生や友達に聞いたりしながら、できるようになりたいです。

三学期は「一度でもあきらめてしまうと、それがクセになる。絶対にあきらめるな。」という言葉は何度も思い出して得意なことや好きなことを増やしていきたいと思っています。



最後に表彰をしました。県教育長賞おめでとう！

〇ごはん・お米とわたし
コンクール・県教育長賞
6年 ○○ ○○さん
〇下村脩ジュニア科学賞
前号で紹介しました。賞状が届いたので、手渡しました。入賞おめでとう。

